

備北ナカポツだより

2025年11月1日発行

BIHOKU NAKAPOTSU NEWS No. 46

一般社団法人備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター

〒728-0013

三次市十日市東三丁目14番1号

三次市福祉保健センター1F

TEL.(0824) 63-1896

FAX.(0824) 63-1897

<http://care-net.biz/34/bihoku-c/>

E-mail/info@bihokucenter.com



「ナカポツ」は障害者就業・生活支援センターの通称名です。

〈事業所紹介〉 「それぞれの一歩を応援する、やさしい空間」

一般社団法人リカサポ 生活訓練事業所「これから」



笑顔でお話をしてくれる
管理者の大坪さん

【お問合せ先】

電話 0824-53-1122

メール : recosupo2022@gmail.com

(三次市十日市中1丁目6-14)

今回は、2022年8月に開設し3年と少し経過した『生活訓練事業所「これから」』を訪ねました。事業所は三次市内中心部にあり、商業施設も隣接しており立地は抜群。管理者兼サービス管理責任者の大坪さんにお話を伺います。

2022年5月に一般社団法人リカサポ設立。それから3ヶ月後に備北地域で初となる自立訓練事業を開始されました。「これから」では、病気や障害により低下した日常生活能力を高め、より豊かな暮らしをするための学びや練習の場を提供しています。家以外に居場所のない(行き場所のない)ひきこもり傾向のある18歳以上の方を主な利用対象としています。

ご利用には障害者手帳の有無は問いませんが、障害福祉サービス受給者証が必要となります。

具体的な活動内容は、『P.C.やス

マホを学ぶ』『コミュニケーションやビジネススマナーの練習』『美文字講座』『Webデザイン講座』『出前講座』『調理活動』『散歩や運動』等々。時には外部講師から特殊詐欺などの防犯講座を開催したり、浄水場を見学し改めて水道について考えるなど、生活力アップを目指した活動が盛りだくさん!

原則2年間の利用期間の中で、少しでも成長や学びの経験となるよう支援を行っておられるということ。

就労に向けた一歩、文化的経験から得られる心豊かな暮らしへの一歩、生きていてよかつたと思える一歩、それぞれの一歩を応援しています。』

大坪さんの穏やかな笑顔のように、ほんわか温かな空気が流れれる生活訓練事業所「これから」でした。



訓練風景



利用者インタビュー Yさん

○リカサポを利用し始めたきっかけですか?

開所半年後から通り始めて、3年になります。

○通所のきっかけは?

相談員の方に紹介されて、P.C.やスマートフォンの操作を学べると聞いて興味を持ちました。

○どんなカリキュラムがありますか?

『コミュニケーションや美文字講座、レクリエーション、散歩(リカさんぽ)などがあり、外の空気を吸うのが楽しみです。

○他の利用者との交流はありますか?

最初は話すことがなかつたけど、少しずつ会話できるようになつて、最近では、P.C.で作ったものを見せ合つたりしていまます。

○楽しかった思い出は?

みんなで岡山に旅行に行つたことです。

○将来の目標はありますか?

ここで学んだP.C.スキルを活かして、事務の仕事に挑戦したいです。



大坪さんからのメッセージ「人生に失敗はない。すべては学びである。」

利用者のみなさんがデザインした缶バッジ



ゆつき～の企業訪問

今回は庄原市立西城市民病院を訪問しました



課長の今井さん（左）

【お問い合わせ先】
電話 0824-82-2611
(庄原市西城町中野 1339 番地)

- さつそく、介護事業所
- グループ課長の今井さんに
- お話を聞いてみましょう
- 庄原市立西城市民病院について教えてください。
- 1952(昭和27)年に西城病院として開設しました。
- 2005(平成17)年に庄原市・比婆郡5町と甲奴郡総領町が合併し、新庄原市となり現在の「庄原市立西城市民病院」となりました。庄原市で唯一の公立病院です。
- 現在は一般病棟54床、介護療養型老人保健施設「せせらぎ」50床やデイサービス等の介護事業を運営しています。
- 障害者雇用の状況について教えてください。
- 現在、知的障害の方1名、精神障害の方1名の、あわせて2名の方を雇用しています。
- 老人保健施設での洗濯業務、デイサービスや通所リハビリでの介護助手の仕事をしてもらっています。
- 障害者雇用のきっかけは?
- 障害者の法定雇用率を達成していなかったことがきっかけです。
- それまでは治療や支援をする立場で関わることが多く、一緒に働くというイメージがありませんでした。
- 配慮していることはありますか?
- 無理なくできる仕事をお願いしています。
- その方が働きやすいように、主任級職員で勉強会を行い、現場へも伝えてもうっています。

障害者を雇用してどのように感じておられますか?

戦力として働いてもらっています。周囲の職員も一緒に働いているところ認識が持てるようになりました。

ナカポンに要望があれば教えてください。

職場に対して直接言えない思いなど聞いてもらえたなら有難いです。

西城市民病院で働いている一人に

お話を聞いてみましょう

どのようなお仕事をされていますか?
仕事を続けるために心掛けていること、仕事をしていく楽しいことなどあれば教えてください。

Bさん

Aさん…洗濯場で利用者さんの食事エプロンや衣類の洗濯をしています。乾燥機に掛けたあと畳んで個人別に分けるのですが、同じ苗字の人もいるので間違えないように特に気をつけています。

Bさん…デイサービスと通所リハビリで介護助手として働いています。

同じことを注意されないように気をつけています。また利用者さんに親しみや

すい印象を持つてもらえるように心掛けています。

休日の過ごし方を教えてください。

Aさん…子どもに会いに行ったり、好きなお店で酒を買いに行きます。カラオケに行くこともあります。

Bさん…好きなアイスを食べることが休日の楽しみです。平日は買い物に行けないため1週間分の買い物出しに行きます。

今後の目標などあれば教えてください。

Aさん…風邪などひいて体調を崩し、まわりに迷惑をかけないよう、体調管理に気をつけたいです。

Bさん…空気が読めず、思ったことをすぐに言ってしまう所があるので、TPOに合わせた行動や言動に気をつけたいです。

です。また、利用者さんに寄り添つて仕事をしていきたいです。



ご協力ありがとうございました。

ホースセラピーと就活ストーリーで交流 9月13日(土)

庄原ホースヒルで心と体を癒すひととき

在職者交流会・就活支援交流会

毎年恒例となったホースセラピー。

今年も庄原ホースヒルにて、16名の参加者を迎えて開催しました。

馬とのふれあいや参加者同士の交流を通して、心身の癒しと前向きな気づきが生まれる一日となりました。

午前中は、ホースセラピストの田口さんによる「心癒されるホースセラピー」の講話からスタート。馬の持つ癒しの力について学んだ後は、「うまうまクイズ」で盛り上がり、馬房掃除やブラッシングを体験しました。



昼食は、参加者全員でカレーとサラダを調理。窯で炊いたご飯は格別で、「みんなで食べるご飯はやっぱり美味しい！」という声も聞かれました。



午後は、障害当事者の中谷さんによる「うまく話せないからこそ伝えたい、私の就活ストーリー」の講話。職業評価から始まり、就労準備支援を受けながらの就職活動について、ピアサポート活動も交えて語っていただきました。

その後は、えさやり体験と、昨年は雨で中止となった乗馬体験を実施。

馬の背に揺られながら風を感じるひとときは、参加者にとって特別な時間となりました。

馬や牛とのふれあいを通して、ぬくもりや大きさを体感し、心身ともに癒されたという声が多く寄せられ、笑顔あふれる一日となりました。



モルック交流試合を開催！

6月14日(土) 就活支援交流会



三次病院デイ・ナイトケアあすなろのモルック部を招待し、混成チームによる交流試合を3試合実施しました。自然な会話や協力が生まれ、あすなろ利用者との交流も深まりました。

参加者からは「頭も体も使って楽しくできた」「いろんな人と交流できてよかったです」「あすなろの皆さんにモルックを教えてもらえて嬉しかった」といった声が寄せられました。

午後には、ピアサポートグループ「やまなみ」主催のカフェに2名が参加されました。



○×で健康チェック！ 調理で腕試し！

7月12日(土) 在職者交流会



午前は○×札を使ったクイズ形式の講義で、塩分・糖分の摂りすぎによる生活習慣病の影響を学びました。「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、生活リズムの大切さを再確認。

調理実習では2グループに分かれて健塩レシピに挑戦。普段料理をしない方も積極的に参加し、協力して野菜の旨味を活かした料理が完成しました。



午後は希望者9名がカードゲーム「狩歌」に参加。頭を使しながら楽しく交流し、リフレッシュできる時間となりました。

8月28日(木)

障害者雇用企業等担当者研修会を開催しました

～ちょっとした工夫が安心を生む～ ABA(応用行動分析学)で考える職場の支援



講師 古川 卓さん

身近なテーマとして考えることができた」などの声が寄せられ、大変好評でした。

また、「もっと深く学びたい」「研修時間を延長してほしい」といったご意見もあり、本テーマへの関心の高さがうかがえました。

障害者の職場定着や就労支援を目的として、障害者雇用に関する情報提供を行う研修会を開催しました。

今回は、「ちょっとした工夫が安心を生む～ABA(応用行動分析学)で考える職場の支援～」をテーマに、一般社団法人KIT代表であり、子鹿医療療育センター臨床心理士の古川卓氏を講師としてお迎えしご講演いただき、企業や福祉事業所で障害者雇用に携わる担当者など、28名の方にご参加いただきました。

「応用行動分析学」という言葉はあまり耳慣れないかもしれません、参加者からは「障害者に限らず、職場での人間関係や指示の出し方にも役立つ内容だった」「事例が豊富で分かりやすく、



障害者雇用企業等担当者交流会を開催します

テーマ 「働くを支える」～精神・発達障害者雇用の定着に向けた意見交換会

とき 11月28日(金) 13時30分～

参加費 無料

ところ 三次市生涯学習センター3階 交流ホール
(三次市十日市東3-14-25)

申込締め切り 11月21日(金)

内容 ①情報提供(広島障害者職業センター) ②意見交換会(進行:広島障害者職業センター)
備北障害者就業・生活支援センター)

この交流会は、障害者を雇用されている企業や、これから障害者の雇用を検討している企業の担当者等にお集まりいただき、障害者の採用や職場定着への取組等に関して必要な情報をお届けすることを目的に開催します。



申し込み用QRコード→

最低賃金改定のお知らせ

2025年11月1日から

広島県の最低賃金は

時間額 **1,085** 円です

▶最低賃金に算入しない賃金

- (1)精勤手当、通勤手当、家族手当
- (2)所定時間外労働、所定休日労働及び深夜労働に対する支払われる賃金(割増賃金等)
- (3)臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- (4)1ヶ月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)

センター活動実績 <2025年10月15日現在>

●就職者数 533件(2010年4月から累計)

●企業実習 387件(2010年4月から累計)

業種 食品製造業、自動車部品製造業、卸売・小売業、飲食業、サービス業、医療・福祉、農業、公務 など

今後の予定

▶障害者雇用企業等担当者交流会

11月28日(金)

▶在職者交流会

2026年3月14日(土) 内容未定

